



冷凍空調会報

No.174
2026.2

- 新年名刺交換会について
- 令和7年度冷凍空調高圧ガス保安大会



－ 菜の花畑と開聞岳 －

(写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟)

一般社団法人 鹿児島県冷凍空調工業保安協会

令和8年 新年名刺交換会



(鎌田会長 賀詞あいさつ)

新春恒例の新年名刺交換会が、去る1月7日(水)、鹿児島サンロイヤルホテルで会員をはじめ行政、業界関係者等約110人の参加のもと盛大に開催されました。

はじめに鎌田会長が賀詞を述べた後、「昨年は鹿児島でも6月中に梅雨が明け、その後は、連日30度を超える夏日が続くとともに、10月の中旬には、国内の観測史上で最も遅い猛暑日を県内で記録した。この猛暑により、国内では、2025年の1年間に、熱中症で病院等へ搬送された人数が、統計史上初めて10万人を超えたことが消防庁の「夏季における熱中症による救急搬送人員の調査」で明らかとなったと述べた。

また、気温の上昇は、生態系にも様々な影響を及ぼすとされており、近年の酷暑のほか、コメの不作やクマの出没なども気候の変化と無縁ではないとの報道もあると述べた。

この様な中、昨年11月にブラジルで開かれた、国連の気候変動枠組み条約締結国会議、いわゆる「COP30」では、「化石燃料からの脱却」に向けた工程表の作成について合意ができるかが焦点とされていたが、石油産油国などの反対で合意ができなかった。また、「COP」は世界の平均気温の上昇幅を、産業革命前と比べて1.5度以内に抑えることを目標にしているが、各国が掲げる二酸化炭素削減は目標には程遠く、昨年は一時的に1.5度を上回ったこともあったとの報告もなされた。

我々、冷凍・空調設備業界が機器の冷媒として

用いる「フロン類」は、オゾン層保護法、フロン排出抑制方の規定による生産規制や排出削減の対象となっている。

一方、冷凍・空調設備は、一次産業をはじめ高度な産業・物流基盤を支える重要なインフラとしての役割も担っており、私共がこうした社会的な責務を果たしていくためには、フロン排出抑制法に規定する排出削減の更なる実効性の確保、施工品質の向上、技術者の養成・確保が課題となっている。

協会としては、今年も組織の充実強化はもとより、関係法令の周知・啓発、業務に関連する各種技術者や技能士育成のための講習会の実施、関係機関との連携などに努めていくこととしており、会員各位の支援・協力をお願いしたい。」と挨拶。

続いて塩田県知事(西消防保安課長代読)、下鶴鹿児島市長(福留鹿児島市建設局建築部長代読)、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会の千鳥専務理事から祝辞、さらに協会顧問の柴立県議会議員、中元鹿児島市議会議員からそれぞれ挨拶をいただき、県土木部の泊設備対策監の新年にふさわしい元氣な音頭で乾杯。



(泊 設備対策監 乾杯)

参加者の皆さんは、和やかな雰囲気の中で、新年の決意も新たに今年の展望や抱負を語り合い、最後に協会顧問の柴立県議会議員・中元鹿児島市議会議員二人による一本締めで、今年一年のいやさかを願い会を閉じました。

新年名刺交換会 祝 辞（要旨）

鹿児島県知事 塩 田 康 一

本日、一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会の新年名刺交換会が、関係の皆様多数御出席のもと、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

鎌田会長をはじめ皆様には、日頃から、本県の高圧ガス保安行政の推進に多大な御理解・御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、冷凍空調設備の自主保安団体として事故の未然防止と適正な工事施工の徹底を図るため、高圧ガス保安法関連法規の周知・啓発、技能士や各種技術者の育成、各種認定・登録申請受理などに取り組まれ、高圧ガスの保安管理体制の維持・向上に大きな成果をあげられていることに、深く敬意を表します。

近年、地球温暖化による気候変動問題への対応が求められており、現在、国においては、地球温暖化係数の高い冷媒ガスの生産量・消費量の削減が義務付けられた2016年のモントリオール議定書のキガリ改正などを受け、次世代低GWP冷媒の実用化に向けた高効率冷凍空調技術の開発や、冷凍設備の冷媒ガスの変更を安全に実施するためのルール整備に取り組んでおります。

このような中、ユーザーに代わって設備の設置や点検、保安管理などを行う皆様の役割は、ますます重要なものになっていくと考えております。

一方で、高圧ガスの冷凍製造事業所の事故につきましては、県内でも毎年報告されており、昨年も数件発生しております。

事故防止のためには、貴協会が担っている役割は大変重要であると考えており、引き続き、会員に対する保安意識の高揚に向けた取組を行っていただきますようお願いいたします。

県としましては、皆様の御協力を頂きながら、今後とも、国や業界等の動向に配慮しつつ、講習会や保安検査などを通じて、高圧ガスによる災害の未然防止と事業者の安全意識の高揚に努めてまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましても、協会を中心に一致団結され、高圧ガスの災害防止と自主保安の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会の今後ますますの御発展と、本日御出席の皆様の御健勝・御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

鹿児島市長 下 鶴 隆 央

令和8年の新春を、清々しく晴れやかな思いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 鹿児島県冷凍空調工業保安協会におかれましては、高圧ガス保安法に基づく自主保安体制の確立や技術者等の育成、良質な工事施工などに努められるとともに奉仕活動を通して地域社会の発展に貢献しておられますことに、深く敬意を表します。重ねて、本市のまちづくりに温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、国においては、足元の物価高に対応しつつ、デフレ脱却、成長型経済への移行を目指し、強い経済の実現などを柱とする総合経済対策を進めるとともに、我が国最大の問題は人口減少であるとの認識のもと、新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生の取組を推進するとしております。

本市におきましても、長引く物価高に加え、人手不足の顕在化等により、市民生活や事業活動が厳しさを増す中、この難局を乗り越え、次の世代に持続可能で豊かな鹿児島市を引き継いでいくためには、物価高から地域の暮らしを守り抜くことを最優先しつつ、子育て世代や若者をはじめ、全ての方々に選ばれるまちを築き上げることが急務であると考えております。

その実現に向け、本市におきましては、環境問題や健全財政の維持という観点から、既存ストックの有効活用や施設の長寿命化、省エネルギー化の推進が重要となってきており、魅力ある市街地の活性化と併せて、将来に向けて「持続可能な街づくり」を積極的に推進しているところでございます。

このような中、空調設備工事では、「市民文化ホール」や「勤労者交流センター」などの空調改修工事を行っているほか、「学校屋内運動場冷暖房設備」の整備などに向けた設計を進めているところでございます。

近年、省エネルギーや環境保全、防災対策などへの関心が高まり、施設設備に対するニーズの多様化が進む中、皆様方には、これまで培ってこられた豊かな経験や優れた技術をもとに、市民生活を支える機能性の高いまちづくりに、引き続き重要な役割を担っていただきたいと思っておりますので、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てる素晴らしい年となり、鹿児島県冷凍空調工業保安協会がますますご発展されますよう、心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



（西 鹿児島県消防保安課長 代読）



（福留 鹿児島市建築部長 代読）

令和7年度 冷凍空調高圧ガス保安大会



令和7年度の冷凍空調高圧ガス保安大会が昨年10月25日(土)、鹿児島市の鹿児島県社会福祉センターで、会員約30名の参加のもとに開催されました。

冒頭、鎌田会長が、「高圧ガス保安協会がとりまとめた、令和6年の事故件数の推移によると、全事故件数は790件で、そのうち冷凍保安規則に係る製造事業所の事故件数は246件で、全事故件数の約3割を占めている。

この冷凍保安規則に係る事故件数246件のうち、フルオロカーボンに係る事故が182件、アンモニア58件、炭酸ガス4件、その他が2件となっている。

漏えい事故は、腐食や疲労による機器・配管等の本体からの噴出・漏えいが165件、締結部や可動シール部からの噴出・漏えいが52件、外部衝撃等その他による事故が29件となっている。

その原因のほとんどは、腐食管理の不備や検査管理の不良によるものである。

このため、高圧ガスの一層の保安確保や事故防止に、万全を期することはもとより、近年、地球温暖化の影響とみられる大規模な風水害が全国各地で相次いでいるが、代表的な冷媒であるフロン類は、地球温暖化に深刻な影響をもたらす温室効果

ガスでもあることから、更なる冷凍空調設備工事の施工品質の向上・確保に向けて、冷凍空調設備業界が一丸となって、取り組まなければならないと考えている。

そのため、技術・施工能力の向上、安全対策には今まで以上に、積極的に取り組んでいただくとともに、高圧ガス保安法やフロン排出抑制法など、関係法令の遵守、従業員に対する教育訓練の実施や定期的な自主点検の徹底など、自主保安体制の充実に努めていただきたい。」と挨拶。

続いて、特別功労者及び優良従業者の表彰のあと、県消防保安課の前田専門員から高圧ガス保安法関係の講話、鹿児島県危機管理防災局災害対策課の大瀧主査から、「鹿児島県の防災対策」をテーマに講演が行われました。



(敬称略)

👑 特別功労者表彰

横山 英雄 (テクノ冷熱(株))

👑 優良従業者表彰

草野 修平 (株)中釜電設
吉川 秀作 (株)ダイセン



「ポリテクセンター鹿児島」における 冷凍空調設備事業の業務等説明会

- 1 日 時 令和7年8月20日（水）16：00～
- 2 場 所 ポリテクセンター鹿児島
- 3 出席者
 - ・ポリテクセンター鹿児島の受講生27名、教職員5名
 - ・保安協会 鎌田会長 等6名
- 4 説明会の内容
 - (1) 出席者自己紹介
 - (2) (一社)日本冷凍空調設備工業連合会（通称 日設連）作成の動画鑑賞
※「冷凍空調設備業界へ COME ON」鑑賞
 - (3) 冷凍空調設備工事等の体験談
 - ① 機器設置時における施行等に関する体験談
・ ㈱ロイヤルテック 鎌田 翔太氏が説明
 - ② 機器設置後のメンテナンス等に関する体験談
・ ㈱トーセツ 岩元 尚浩氏が説明
 - ③ 機器設置の設計・営業活動等に関する体験談
・ 大和冷熱㈱ 肱元 格氏が説明
 - (4) 意見交換等

受講生からは、冷凍空調設備業界に入職した場合、技術者として一人立ちするには何年ぐらいの期間が必要か、また、一人立ちした場合の待遇等についても質問がありました。

体験談を担当した講師や保安協会からは、各質問に対して丁寧に答えるとともに、冷凍空調設備業界では、技術者だけではなく色々な職種もあり、興味のある方は遠慮なく保安協会事務局等にご連絡を頂きたいと説明し、説明会を閉じました。



地方会員懇談会（北薩地区）

1 日 時 令和7年11月19日（水）17：00～

2 場 所 鶴丸会館（出水市）

3 出席者 会員3名、協会役員3名

4 懇談会内容

(1) 会長あいさつ

(2) 出席者自己紹介

(3) 概況報告

- ・ 令和7年度事業の実施状況並びに今後の事業計画について

- ・ 各種届出の徹底について

(1) フロン排出抑制法に基づく「第1種フロン類充填回収業者」の知事登録

(2) 高圧ガス保安法に基づく知事への「高圧ガス販売届」の提出（変更を含む）

(4) 意見交換

＜協会会長＞

出水市長への要望内容を出席した会員へ説明するとともに、市長との意見交換の状況についても詳細に説明した。

また、8月20日(水)に開催した、ポリテクセンター鹿児島の入校生に対する説明会の状況も報告した。

＜地区会員＞

北薩地区でも人手不足が大きな課題であり、今後、協会からも色々な情報を提供して欲しいとの要望があった。



会 員 情 報

●代表者が変わりました。

事業所名	代表者名	住 所	T E L
(株)ダイセン	(新) 濱田 洋一 (旧) 安藤 雅史	〒890-0033 鹿児島市西別府町2941-23	099-282-8811
(株)前川製作所 九州支店鹿児島営業所	(新) 馬場 修平 (旧) 辻 聡	〒890-0055 鹿児島市上荒田町22-3 育英ビル5階	099-256-8100
三元設備工業(株)	(新) 内村 智仁 (旧) 小村 貢	〒891-0113 鹿児島市東谷山2-17-18	099-269-1071
(株)照国空調	(新) 中野 和人 (旧) 中野 親幸	〒892-0873 鹿児島市下田町640-19	099-267-5541

●事務所を移転しました。

事業所名	代表者名	住 所	TEL・FAX
セイコー工業(株)	小田 信夫	〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目40-4	TEL：099-252-9240 FAX：099-252-9250
(有)カナンシステム	久保 健一	〒891-0405 鹿児島市甲突町12-20 甲突ベースⅡ	TEL：099-221-0100 FAX：099-221-0101
(株)アタリ開発	中 崇 樹	〒894-0012 奄美市名瀬小俣町29-8	TEL：0997-52-2362 FAX：0997-54-1498
(株)ソーゴ 鹿児島営業所 【賛助会員】	坂口 正明	〒891-0122 鹿児島市南榮5丁目10-4 にわシティビル3-C	TEL：099-210-0005 FAX：099-210-0010

●会社名が変更となりました。

旧 事業所名	新 事業所名
株式会社 九電工鹿児島支店	株式会社 クラフティア

*会員の皆様には、代表者や住所、社名等に変更があった際は、事務局までお知らせくださるようお願いします。

会員加入のお願い

フロン排出抑制法の施行などにより、私どもの業界を取り巻く環境が変わる中、当協会でも会員数の拡大や組織の強化が求められており、当協会組織の拡充・強化を図るため、役員全員体制で新規会員加入の促進に取り組んでおります。

会員の皆様におかれましても、お知り合いの未加入の同業者の方々へ、協会加入の働きかけをしていただければ幸いです。

第9回 フロン会チャリティゴルフコンペを開催



令和2年2月に発足した「フロン会」(会長:鎌田正司)も、第9回目の開催となり、今回もこれまでと同様チャリティゴルフコンペとして下記の通り開催されました。

日 時:令和7年12月19日(金)

場 所:島津ゴルフ倶楽部

参加者:16名

今回もダブルペリア方式(同ネットの場合は年齢順)で開催され、気温20度を超す快晴の下で腕を

競い合いました。今大会の「優勝者」はフロン会会長の鎌田正司様、準優勝は(有)立和名冷熱の竹原央人様、当日の実力NO.1ベストグロス賞は南菱冷熱工業(株)の富田純行様でした。なお、青年部会岩元会長の奥様(真由美様)も参加されナイスショットを連発されるなど、紅一点として大活躍でした。

参加された方々からのチャリティ額43,000円は、前大会同様に社会福祉法人鹿児島県共同募金に寄附させて頂きました。



会社紹介

株式会社 令和機工

【会社概要】

代表取締役:上野 憲二

事業所:〒891-0115 鹿児島市東開町3-156

電話:099-204-7575

FAX:099-204-7565

E-mail:kkreiwakikou@iaa.itkeeper.ne.jp

事業内容:重量物搬入据付工事、冷蔵冷凍機器販売

登録資格:建設業許可 とび・土木工事業 鹿児島県知事許可(般-3)第170395号

第一種フロン類充填回収業 46-1-1120

産業廃棄物運搬収集業許可 04607246263号

当社は令和元年に創業し地域に根ざした社会貢献を第一と考え徹底した安全作業を心掛け、お客様に信頼と安心をより一層提供できるように、日々邁進してまいります。

建設分野の特定技能外国人制度について

建設分野における特定技能外国人労働者につきまして、2022年8月30日に制度改正を行い、建設業種全てで受け入れが認められました。

それに伴い、「冷凍空調」職種での受け入れも可能となりました。

技能実習の「冷凍空気調和機器施工」職種として、実習している外国人の方も、技能実習が良好に修了した者についても、特定技能1号への移行が可能となりました。

制度改正において、新たに業務区分として「土木」、「建築」、「ライフライン・設備」の3つに集約され、管工事業は「ライフライン・設備」の業務区分となり、よって「冷凍空調」も「ライフライン・設備」となります。

建設業種の特定技能外国人労働者を受け入れる際には、さまざまな手続き、届出等が必要となり、さらに国土交通省に「建設特定技能受入計画」の認定を受ける必要があります。

また、一般社団法人建設技能人材機構（JAC）への入会も必要となります。JACへは、年会費として24万円と特定技能外国人の“受入負担金”として、受け入れる特定外国人一人当たり月額12,500円（年額15万円）を支払う義務があります。

しかしながら、JACへの入会については、日設連がJACへ加入（2022年10月1日付）しているため、日設連の会員企業については、JACへ入会する必要はありません。そのため、JACへの年会費24万円が免除されます。（免除を受けるには「建設特定技能受入計画」ご提出の際に、**日設連の会員証明書**が必要となります。）

ただし、年会費は免除されますが、月毎の**受入負担金（一人当たり12,500円/月）**を支払う必要があります。また、受入負担金については、JACに代わりまして、日設連が収納代行をすることになっています。そのため、**日設連よりご請求**させていただきますので、ご理解ください。

なお、会員証明者は、日設連HP（<https://www.jarac.or.jp/foreignworkers>）より、「会員証明書発行申請書」をダウンロードして、ご申請ください。

会員証明書発行申請書 申請先：info@jarac.or.jp 発行期間：7営業日以内

ご不明な点は、日設連事務局（03-3435-9411）までお問い合わせください。

その他、詳細については、JACのホームページをご確認ください。

JAC：<https://jac-skill.or.jp/>

問い合わせ先：0120-220-353

以上

（一社）日本冷凍空調設備工業連合会（略称：日設連）



冷媒フロン類取扱技術者の更新講習等について

平成27年4月に施行された「フロン排出抑制法」を受けて、業務用冷凍空調機器の冷媒の充填・回収及び点検について、「十分な知見を有する者」として、平成26年度から第一種及び第二種の「冷媒フロン類取扱技術者」の養成に努めてまいりました。

この冷媒フロン類取扱技術者資格の有効期限は5年間のため、更新手続きを行わないと失効することから、当該技術者として皆様に資格を継続していただくため、当保安協会でも平成30年度から「更新講習会」を実施しております。

本年度は、4月7日(土)、11月22日(土)に何れも県社会福祉センターで開催し、163名の受講者が講習及び修了考査試験に熱心に取り組んでいました。この「更新講習会」につきましては、有効期限到来の1年前及び有効期限が切れてから1年未満の方が受講できます。

また、今年度も「第一種」の講習会を10月7日(火)に県社会福祉センターで開催し、27名の受講者が講習及び終了考査試験に熱心に取り組んでいました。



(第一種冷媒フロン類取扱技術者講習会の様子)
【令和7年10月7日(火)】



冷凍空気調和機器施工技能士検定試験 学科試験準備講習会 ～国家資格の技能士を目指して～

- ◇ 学科講習日 令和7年12月6・7日
- ◇ 場 所 ポリテクセンター鹿児島
- ◇ 受 講 者 1級4名、2級4名

今回の学科試験準備講習会には8名が参加し、全員が検定試験合格に向けて、熱心に受講していました。

なお、本番の検定試験は、実技が令和8年1月11日、学科が2月1日に実施され、合格発表は3月13日の予定です。

また、実技検定のための受検準備講習会は、ポリテクセンター鹿児島様の主催で、昨年(令和6年)の11月8・9日の2日間実施され、13名が受講しました。



(学科試験準備講習会の様子)
【令和7年12月6日(土)】

発行日 令和8年2月3日発行

発行所 〒890-0064

鹿児島市鴨池新町6番6号

(一社) 鹿児島県冷凍空調工業保安協会

TEL (099) 254-3948

FAX (099) 258-4839

E-mail krac@arion.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://kagoshima-reiku.com/>